

# 払田の地蔵の松 (はらいだのじぞうのみつ)

東田川郡庄内町 払田字サビ97-1

この払田の松は、樹齢約三百七十年のクロマツで、根回り4.3m、目通り幹囲3.9m、樹高10.8mあり、昭和33年7月25日に山形県指定天然記念物に指定されている。

備前の国の池田侯一族が当地に移住したころ植えられたといわれる。後に山形県庄内藩主酒井侯の藩邸に移植されたが、夜な夜な女の泣き声を発するので気味が悪くなり六面地蔵を添えて植え戻した。そこからこの松を地蔵の松というようになった。  
〔山形県森林協会〕

(案内略図)



山形県指定天然記念物  
 昭和三十三年七月二十五日指定  
**払田の地蔵の松**  
 樹高10.8m  
 目通り幹囲3.9m  
 根回り4.3m  
 樹齢約370年  
 種別クロマツ

この松の置かれた地蔵は、池田侯一族が、わかれ人々の  
 命を助けるために、この地に建てた。その地蔵は、  
 山形にのみならず、本邦各地に建てられた。  
 ことに、寺には、深き深い地蔵が建てられた。  
 寺でまた、寺でこの松を植えた。この松は、  
 この松は、この松を植えた。この松は、  
 庄内藩主酒井侯の藩邸に移植された。この松は、  
 夜な夜な女の泣き声を発する。この松は、  
 悪く、大層な地蔵を添えて植え戻した。  
 それから、この松を地蔵の松といふようになった。



【森林やまがた81号(2003年12月)記載】